

コンクリ舗装

機械間の立ち入り防止

大成ロテックロープ破断で警報

大成ロテックはコンクリート舗装工事で施工中の事故を防ぐため、注意喚起器具「くるくるトラロープ」を導入した。敷きならし機械と締め固め機械の間の施



くるくるトラロープを使った立ち入り制限の様子

工範囲に張り、作業員などの立ち入りを防ぐ。ロープが破断した場合はブザーでオペレーターに異常を知らせる。群馬県内で施工中のトンネル舗装工事に導入したところ好評だったという。他現場にも展開している。

くるくるトラロープは敷きならし機械と締め固め機械に取り付けて使う。片方に巻き取り器が付いており、それぞれの機械が動いて間隔が変わってもたるまない。トラブルでロープが切れてもゴム製の補助ロープで立ち入り制限を継続。同時にブザーでオペレーターに異常を知らせる。

コンクリート舗装のセツトフォーム工法では、敷きならし、締め固め、表面仕上げの3種類の機械を使うのが一般的。各機械は設置された軌道（レール）を走行する。締め固め・表面仕上げ機械は常に前進しながら施工する。敷きならし機械は軌道上を前後進して生コンクリートを打っていく。後退した機械と作業員が接触する災害の発生リスクがあった。